

位置

は攝津國兵庫の武庫山の事を思ひ合せて書るにやとも思ふに、續日本紀二十九稱徳天皇神護景雲二年六月癸巳武藏國獻白雉、その勅に云、國號武藏、既呈戡武崇文之祥と、群卿の奏上しを思へば、さいへる事有といはんも、また據なしとも云べからず、卷廿九ノ右

或人云、武藏相模はもと上下の國也、古へ虜囚を武佐といへり、上古三韓の囚人を置し事諸國に有、攝津の高麗郡、當國にも高麗郡有、さて近江國の武佐の郡も、またその虜囚置し所なれば、相模は武佐上の上を略き、武藏はむさ下の下を略なるべしと、是上下國を分つの例也といへり

〔江戸紀聞一〕江戸城

松隣夜話に云、永祿八年、北條氏康子息氏政、上田又次郎入道安獨齋を先陣として、上道中武藏に取詰、江戸の城を責落さんとす、平井柿崎前橋の北城、相ともに中武藏の虚弱を警固のため、兩方より三百五十宛、すべて七百の兵を別て、太田方へ遣しをき、略、下

〔地勢提要 乾〕各國經緯度 附里程

武藏、江戸測量所淺草御藏前、極高三十五度四十一分半、經度東四度三分、從日本橋二十三町五十間、

武藏、江戸深川黒江町、極高三十五度四十分半、經度東四度半、從日本橋二十二町三十七間、

〔日本經緯度實測〕北極出地

武藏 川崎 三五度三二分三〇秒

江戸 三五度四二分〇〇秒

桶川宿 三六度〇〇分三〇秒

蕨宿 三五度五二分〇〇秒略、中

東西里差

山城 京 〇度〇〇分〇〇秒略、中

武藏 江戸 東四度〇四分〇〇秒

〔新編武藏風土記稿總國圖說〕武藏國ハ、氏ノ分野ニ屬ス、江戸ノ地、北極出地三十五度半、或ハ三十六度水考、土國ノ大抵巽ヲ首トシ、乾ヲ尾トス、南北表、相模國志名野坂鎌倉郡ニ屬ス、堺ヨリ、上野國新町宿